



報道関係者各位

PLAY TARO

2015年2月26日

岡本太郎“再生”！秘蔵作品も多数公開！これまでに例のない、全く新しいアートニュースサイト

## 「PLAY TARO」

2月26日(木)0時オープン！

<http://playtaro.com/>

公益財団法人 岡本太郎記念現代芸術振興財団（所在地：東京都港区、理事長：清水井 敏夫）は、故・岡本太郎の誕生日でもある本日 2015年2月26日、アートニュースサイト <http://playtaro.com/> をオープンいたしました。

PLAY TARO 製作委員会は当サイトを以下のように謳います。

「『お遊び』では駄目なのだ。

全生命、全存在を賭けて、真剣に、猛烈に遊ぶのでなければ、生命は燃えあがらない。

いのちがけの『あそび』と、甘えた『お遊び』とは、まったく違うのである。」

岡本太郎の言葉です。

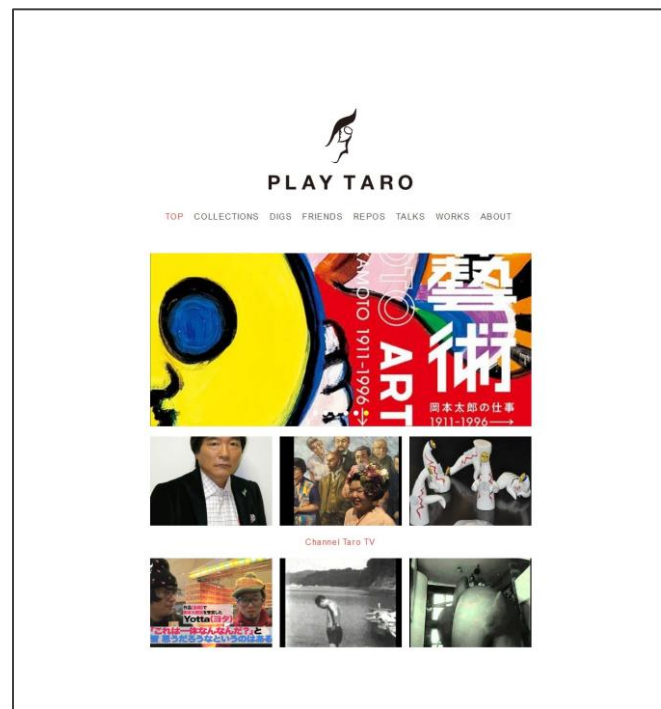
岡本太郎記念館の館長であり、当サイトのエグゼクティブプロデューサーでもある平野暁臣も以下のようにコメントしています。「岡本太郎は死んだ遺跡じゃない。亡くなって20年近くが経ついまも、ぼくたちを触発しつづけている。岡本太郎は『過去』ではなく、現在であり未来なんです。だからこそ次代を担う若い人たちに太郎と生々しくぶつかって欲しい。いま太郎と正しく向き合う唯一の方法は、『真剣に遊ぶ』ことだとぼくは考えています。」

“全生命、全存在を賭けて、真剣に、猛烈に遊ぶ”

そのためのリングとなるよう、この度当サイトをオープンする運びとなりました。この『PLAY TARO』は、その名のとおり「太郎と遊ぶ、太郎で遊ぶ」サイトです。

私たちは、岡本太郎を桐の箱に入れて神棚に祭ろうとは考えていません。偉大な物故アーティストとして歴史の中に封印しようとも思いません。岡本太郎はいまなお私たちに直球を投げってくるライブな存在だからです。

このサイトでは「太郎と向き合い、真正面からぶつかっている人」をすくいあげ広く紹介していきます。むろん有名無名は問いません。『PLAY TARO』はリアルタイムで岡本太郎と“ぶつかる”メディア



画像：「PLAY TARO」サイト(イメージ)

です。（“ぶつつかる”は岡本太郎がよく使っていた言葉です）太郎と「ぶつつかる」ことは、太郎と「闘う」ことでもあります。『PLAY TARO』には著名なクリエイターから無名の若者まで多彩な人びとが登場しますが、いずれも太郎とぶつつかり、闘っています。その姿をリアルタイムで見て欲しい。そこから何かをつかみ取って欲しい。自分の問題として考えはじめて欲しい。そう願いながら、私たちはこのサイトをつくっていきます。オープニングゲストとしては、きたろう氏やタナカカツキ氏等をお迎えし、インタビューを掲載しています。

#### きたろう氏



1948 年千葉県出身。  
1971 年俳優座小劇場解散後、風間杜夫等と表現劇場結成。  
1979 年現メンバー大竹まこと、斉木しげるとラジカルで知的なコントユニット“シティボーイズ”を結成。  
1981 年日本テレビ「お笑いスター誕生」でデビュー（10 週勝ち抜きグランプリ）  
現在TV・映画・CM・舞台等幅広く活躍中。  
岡本太郎を“自分にとっての生きるための指針”としている。

#### タナカカツキ氏



\*対談時の氏

1966 年大阪府出身。  
1985 年マンガ家デビュー。  
著書には「オッス！トン子ちゃん」「サ道」、天久聖一との共著「バカドリル」などがある。  
最新作として、『コップのフチの太陽の塔』を 2015 年 2 月 25 日に全国発売。

『PLAY TARO』は最新の岡本作品だ。そう感じていただけるようなクリエイティブなアートニュースサイトを目指します。

新しいオカモトワールドへどうぞあそびに来てください。

以上

#### 【本リリースに関してのお問い合わせ先】

★お問い合わせや取材、資料や画像データご希望の方は、下記までご連絡ください。

PLAY TARO 製作委員会 担当:野坂・中川

Mail:[info@playtaro.com](mailto:info@playtaro.com) TEL:080-1353-4557